令和4(2022)年10月3日発行　第138号

# こびとのおうちえんLetter 10月号

今、バナナおにが大ブーム。毎日のようにメンバーを集めてはやっている。今では、全員がバナナおにを経験済。私も、今までは、そんなにおもしろいと思ったことなかったけど、これがやってみると楽しい！なんだかこれを始めてから、しょうま やビーバーのメンタルがよりつよくなったなと思ったり、うたがハマってて、すでにバナナおにをバッチリやれるようになってたり、たまとも が積極的になったり、かいと がよりきびんになったり、ゆうき のうごきをみてみんなが学んだり…とみんなのバナナおにを通しての成長もうかがえておもしろいのだ。夢中で走りおにかけるもおにかけられるも楽しんでる。しかし長い時間走りっぱなしてる。いやー、これまた「もうがんばるしかないさー」と私も勇気100%のフレーズを口ずさむのだった。

## 10月のスタッフプラン

### いねかり

13日(木) おべんとうの日
茶臼山にのぼろう
※おべんとうの準備をお願いします。

## 9月はこんなことしました。くわがたとり

・111プール　・めだかとり　・バナナおに
・畑の雑草とりつけ作業　・くりひろいさんぽ
・馬島であそぶ　・ゴムとび　・大なわとび
・モクズがこどり　・バスケットゴール(低い人用)づくり
・モクズがニースープ作り　・根笠川であそぶ
・鼓ヶ浦であそぶ　・えのぐでおえかき
・赤とうもろこし、小豆の収穫　・おはぎ作り
・みそしるづくり　・山の広場であそぶ
・魚釣り(まりる)　・大山海浜パークであそぶ
・ドールハウス作り　・おみせやさんごっこ(梨屋さん、プリンやさん)
・ぎんなん ひろい　・日向平さんぽ　etc…

_____ の様子をおしらせします。

## 10月のペアレンツグループ

26日(水) 13:00～15:00
場所　もみじのいえ
内容　フィーリンググループ

☺自分をゆっくり味わう時間。話すことで整頓されたり、メンバーのきもちをきき合うことでの気づきもあります。参加される方は、事前にご連絡下さいね。当日でも大丈夫です。

## おたんじょうび おめでとう!!

7日　(6さい)

ごはんのとき、たろう が「たべれん」と言ったら、みらい が「たべられないの？」
「ちょっとだけたべてごらん。」
とやさしくこたえる。
たろう は、ひとくちたべてみる。
すると、たろう は「たべれる」と言う。
みらい が、「よかったね!!」と伝える。
ほぉー、完ペキだー みらい。(9/5)

## ももちゃんのコーナー

13歳の息子は、今ブラックバス釣りにはまっている。毎日行きたい。そのためには、家の仕事も積極的にやる。行けない時は、ルアーを自作したり、近くで川釣りしたり、内海漁具店に自転車で行く。3時間以上平気で過ごせる。先日は、バス釣り大会に出るために福岡まで行った。(エントリー代¥4,000!!) バスロッドやルアーを買うために、お年玉まで前借りしてそれでも足りないので、いらない釣り具をカメヤに売りに行ったら、6300円になった。いちご農家でバイトもした。心が軽いから、体も軽くて、行動力がすごい。世界がどんどん広がっている。

そんな彼も、春はずっとグズグズメソメソしていた。中学校入学式から4日でもう行きたくなくなって、家で過ごすことに決めた。頭ばっかり働いて、心配や不安でいっぱいになって、やりたいことが全然思いつかないようだった。この時期、びっくりするくらい素直に自分の気持ちを伝えてくれたので、彼の不安がよくわかってそういう意味では安心していたし、これからどうやって上がっていくのか？と楽しみでもあった。

でも、毎朝泣きながら起きてくる彼を見るのはさすがに憂うつだった。「せめて3月は行ったらよかったのに」と人に言われて動揺する私もいた。私も、まだ何も始まっていないのに、一面だけ見て判断するのは早急すぎると思っていた。尊敬できる先生もいるかもしれないし、気の合う友達にも出会えるかもしれない。通えるようにもう少し私が何かできたのか、と。今までと違う価値観の中で、彼がどう感じ、どう落としこんでいくのか知りたかったし、とまどうこともあるだろうけど、それを乗りこえて欲しかった、などと思った。

そんな時に、みらいが最後にかけてくれた言葉を思い出した。「たいようがこの先どんな選択をしても、そのまま受け止めて、彼を信頼して応援してあげてください。ぼくは、そうして欲しかったし、そうしてもらえた時にすごく勇気が出て一歩が踏み出せたんだ」と。(みらいは、去年高校3年生の1年間を休学して、てらやのスタッフをしてくれた子です。)これを聞いた時、これは子どもたち全員の心からの願いだ、と思ったのだ。

それを思い出したら、私があぁしてたら、とか、彼にとって何が良いのか、とか、ましてや勝手な期待とか…本当にどうしようもないな。と気づいて自分の真ん中に帰ることができた。

先日、さかなクンの自叙伝『一魚一会』を読んだ。お母さんがすごくて、さかなクンを100%信頼して、そのままでいいよ、と、自分の道を行きなさい、と応援する。私も、さかなクンのお母さんのようでいたい。

好きなことを夢中でしている子どもの姿はキラキラしてまぶしい。おうちえんでもいっぱいみる。「好き」ってすごいパワーがある。「好き」があれば壁ものりこえられる。本当はそんなことを書きたかったのだけど、ずいぶん話がそれてしまいました。

ずっとキラキラのさかなクンの『一魚一会』とそれを基にした映画『さかなのこ』超おすすめです。

堀　百代

## よっこのちょこっとおうちえん日誌 ～日々のあれこれ～

ビーバー ぎんつき が縁側で木工作をしていると、ことが近づいていって、「あのー、すみません。これください。」と言って、縁側の下にあるお皿やおなべを指さす。ぎんつき ビーバー は、とっさのことにも、「はい、しいですよー」とお店の人になって対応。ことのごっこに入りこんでいて役になりきってあそび、周りをまきこむかんじも楽しいし、ことの世界観を受け入れて、軽やかに応える2人がほほえましかった。(9/20)

日向平さんぽ。ぽっぷ うた あおい いろのふ と。あおい は柿を見つけるのが目的。「ないかなぁ」とさがしてる。しっころんと落ちていた。きれい。「やったー」と4人で分けてたべてた。「まだあるかも♡」と歩くのが楽しい。どんどん歩きながら、栗のポイントのところまで来た。大きいのがいくつかあって各々がイガを開けながらひろっていたら、ドシンって音がした。「何？」みんなおどろく。ぽっぷ が「クマ？」いろのふ が「イノシシ？」ドキドキ。私がそのへんをうろうろ見たら、大きな真っ赤な柿が落ちてるのを見つけた。さっきはなかった。柿の落ちる音ってけっこうたきいね。また、みんなで分ける。(9/12)

鼓ヶ浦。ももちゃんと岩場たんけんの かいと いろのふ ビーバー。しおだまりにむかって「さあとびこむしーかないさー」と勇気100%のフレーズをうたいとびこむ。天日塩ができてたところがあったそう。かいと ビーバー が自作のうたをうたいだす。
かいと「しおはいつまでたってもくさらない、Hey!」
ビーバー が「しおをたべると元気がでるぜ～」♫

111プールさいごの日。午後、全員入ってあそんだ。ビーバー いろのふ は今日もクワガチチェックに4人の子工場のとこいってかえってきて合流。
ビーバー「あちゃぴちゃぴジャンプ!」といってとぶ。口の中に水を含んでプーッととばすときれいな虹!!さいごは、イルカジャンプしまくりのみんな。ううーっもってきたら、イルカショーみたいになった。(9/15)

あかり とおうちごっこの うた「おねえちゃん、いいアイディアね！」とはずんだ声がきこえてくる。(9/21)